



中央区の
マスコットキャラクター
「ゆめまるくん」

大阪市中央区役所

<http://www.city.osaka.lg.jp/chuo/>

平成21年9月発行

「中央区橋から橋まで総めぐり」発行にあたって

平成元年2月、旧東区と旧南区の合区により誕生した中央区は、市街地の形成としては、わが国初の都市である難波宮から、近世の大坂城築城を経て今日に至る長い歴史をもっています。

大阪の歴史を紐解きますと、豊臣秀吉の大坂城築城とともに東西横堀川が、江戸時代には道頓堀川が開削され、数多くの橋が架けられて「浪華八百八橋」と謳われるようになったそうです。盛んな舟運に伴い、川や橋は人々に親しまれてきましたが、第2次世界大戦後、陸上交通の発達にともない、水上交通は著しく衰退し、また、工場等からの排水や堆積物によって市内の河川水質は悪化の一途をたどりました。こうした中、昭和25年にジェーン台風が来襲し、多くの高潮被害を受け、高潮防御対策と環境整備のため、多くの河川が埋め立てられることとなりました。

現在、大阪では、「水の回廊（大阪市の中心部に位置する、堂島川・土佐堀川・木津川・道頓堀川・東横堀川の口の字型の回廊のこと）」を中心として水辺を活かした整備や賑わいづくりが進められています。中央区にはこの「水の回廊」の一部を形成する土佐堀川・道頓堀川・東横堀川が流れています。本書を活用することで、水辺空間の歴史や文化への造詣を深め、中央区の魅力を探っていただき、さらには、その魅力を守り、活かしていく一助としていただければ幸いです。